

「山と海をつなぐ^ミ三^チ知」

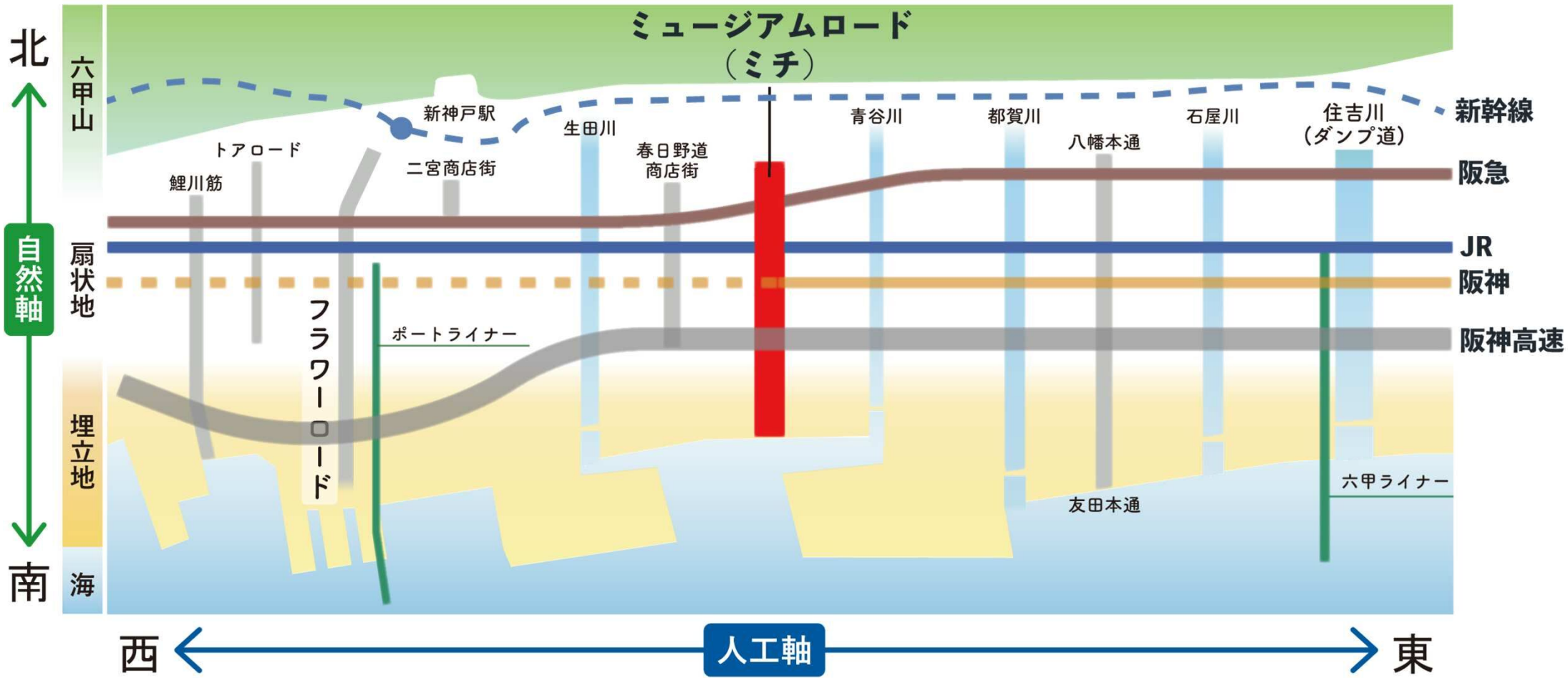
— 美を知る/魅を知る/未を知る —

ミュージアムロード

01

山から海へ・海から山へ

〈 神戸のまちを分析する 〉



神戸のまちを構成する軸

- 北から南の自然軸 河川・土砂・風など
- 東西間の人工軸 鉄道・高速道路など

神戸市の南北軸の課題

課題： 南北方向の高低差 / 坂道が多い
公共交通やモビリティが脆弱

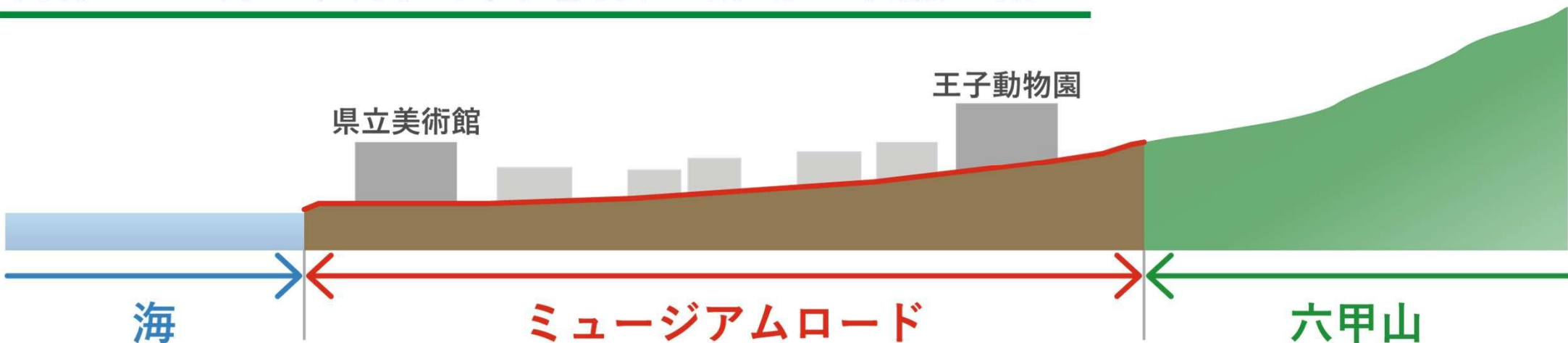


多様な人々にとって、移動の負担が大きい都市構造

目標：人が集い、滞在し、交流を生む文化と自然の軸へ



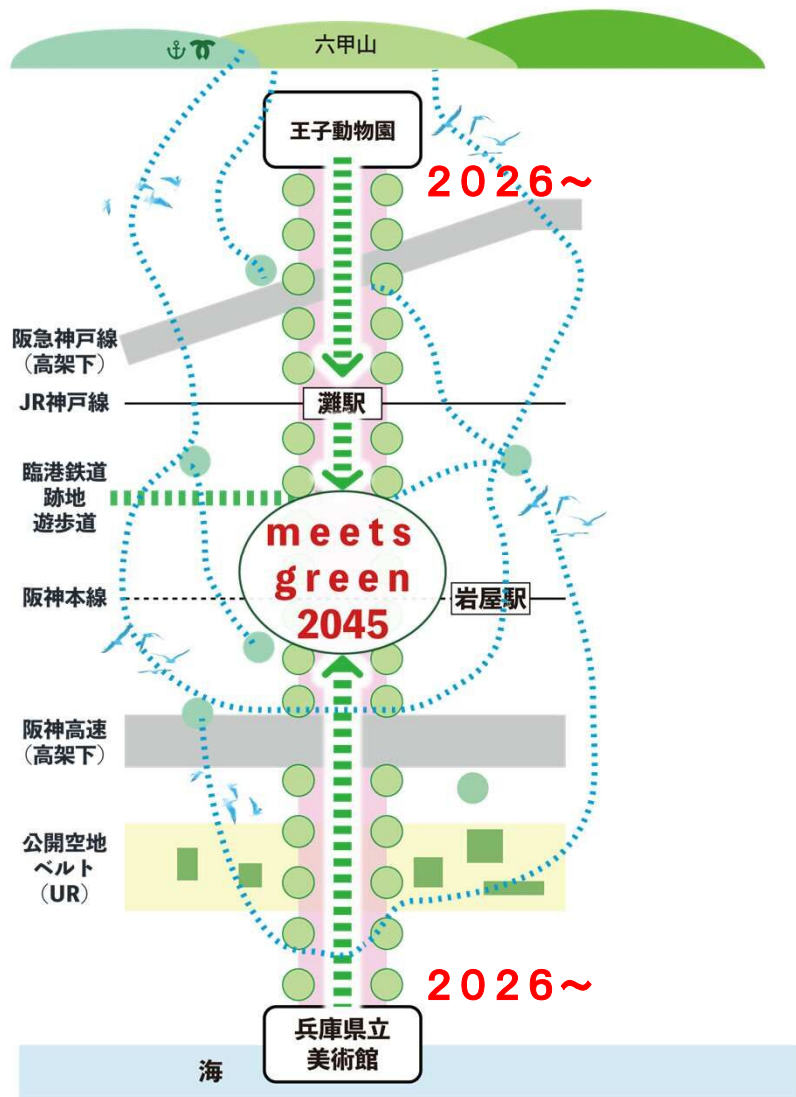
ミュージアムロード(BBプラザ前)



02

自然軸 未を知る — 緑の未来像

〈 並木ミチ×ミュージアムロード 〉



ミュージアムロードを

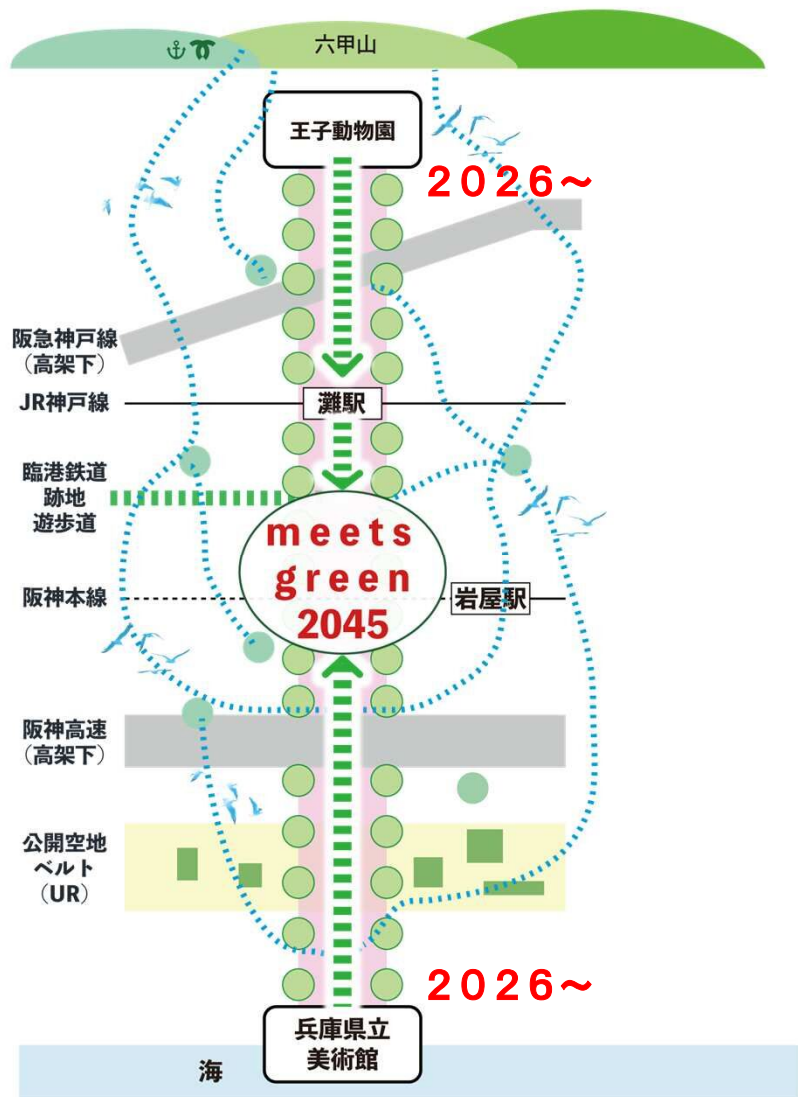
「人が集い、滞在し
交流を生む文化と自然の軸」

へ変貌させるため

段階的な植樹を提案

植樹のポイント

1. 中長期的な計画とし、段階的に並木ミチを形成
2. 海側・山側の双方から植樹
3. 六甲山の植生・誘鳥木をミュージアムロードに取り込む



■ 並木ミチの3つの機能

1. 滞在したくなる環境の形成
2. 市民参加のきっかけづくり
3. 防災機能の補完と忘災のシンボル

03

グリーン計画 × ミュージアムロード

〈 永遠のグリーンをつくる 〉

■ 永遠のグリーンをつくる

1. 年間を通して緑が途切れない並木ミチ
2. 玄人×素人(産・官・学・民の連携)
3. 育てていくことも地域活動につなげる

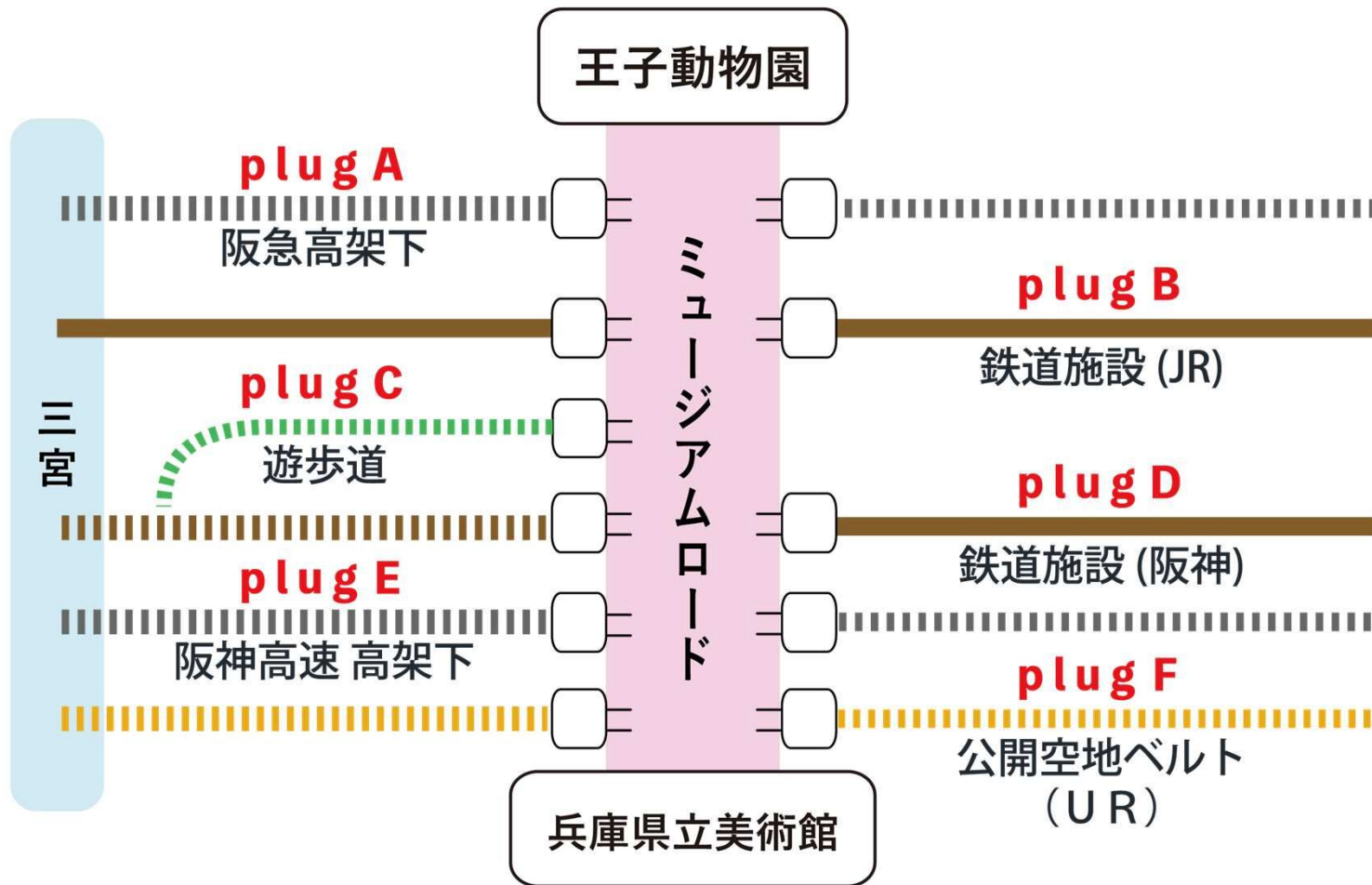


震災復興から始まったグリーン計画を継承

04

人工軸 魅を知る — 魅力の創出

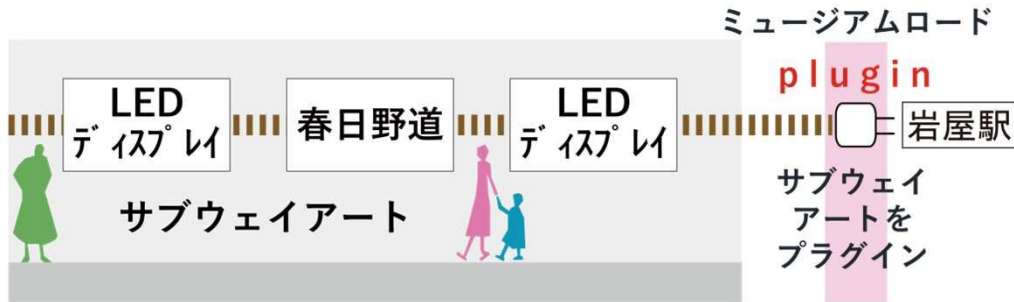
〈プラグイン〉



ミュージアムロードに東西に延びる人工軸をプラグイン

■ 既存空間を活用

例: 阪神電車でのサブウェイアート



サブウェイアート例(岩屋駅)

ミュージアムロードから神戸全体にプロジェクトを波及

05

モビリティ×ミュージアムロード

未を知る - モビリティの将来像

速度が異なるモビリティを段階的に整備

短期的



シェアサイクルの拡充

中期的



グリーンスローモビリティ

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s092/1600.html>より引用

長期的



ロープウェイ

<https://yokohama-air-cabin.jp/about/>より引用



コミュニティバス



グリーンスローモビリティ

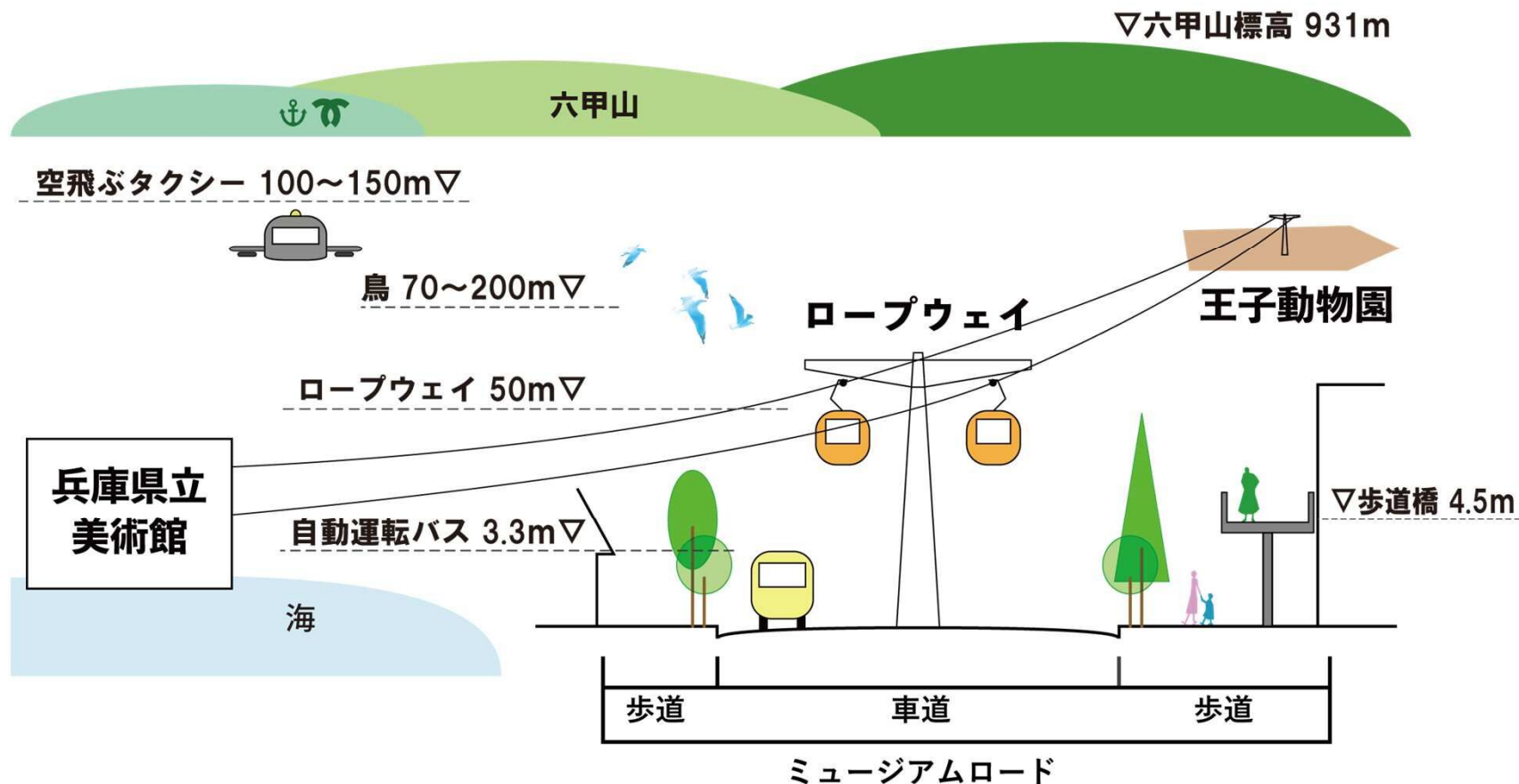
<https://gekidaniino.co.jp/newworks/waterfront3/>より引用



空飛ぶタクシー

https://www.mdsol.co.jp/column/column_123_1462.htmlより引用

未来像（20年後の姿） 平面的なつながり × 立体的な視点



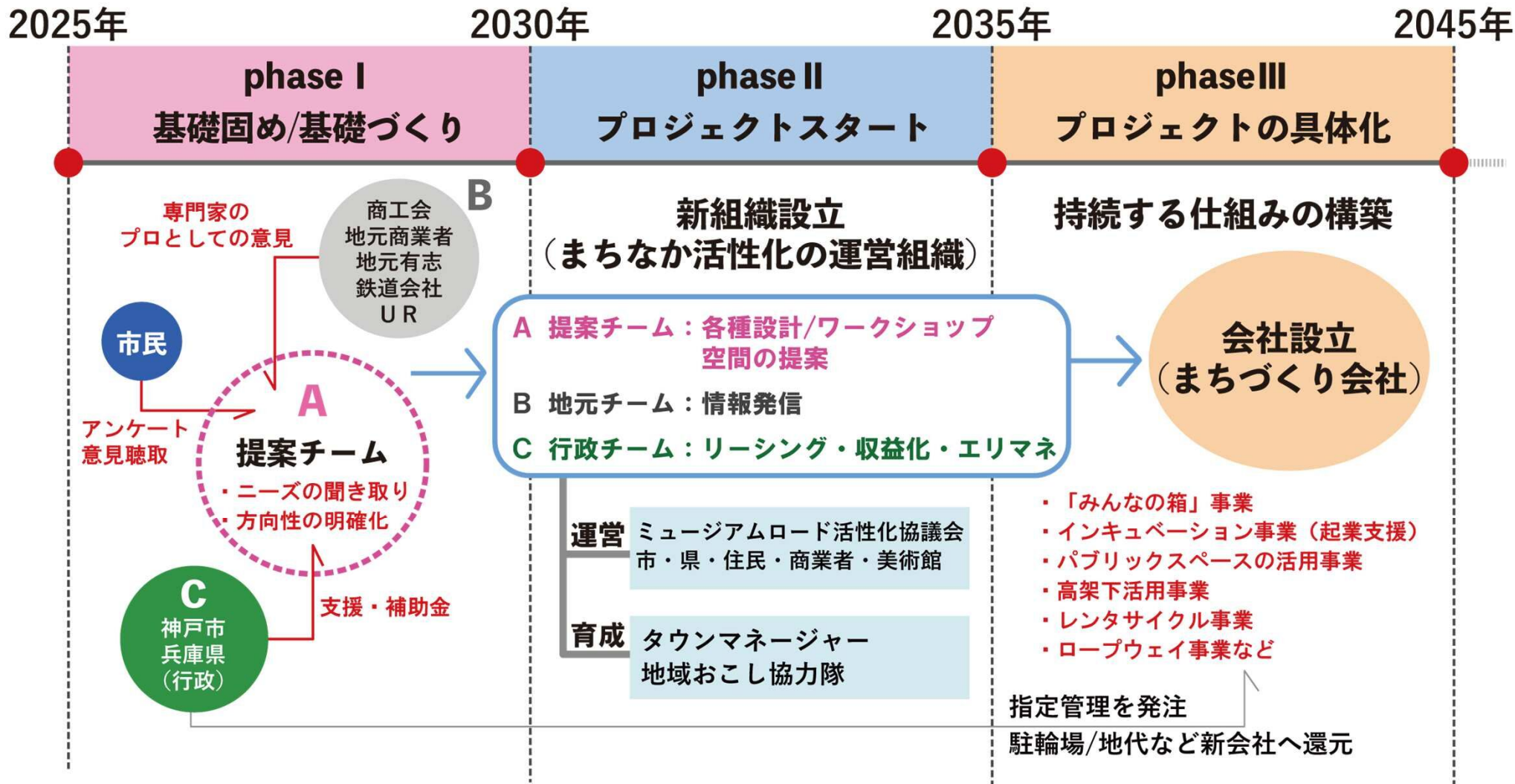
20年後を見据えた新たな体験と、移動しやすい南北軸の構築を目指す

07

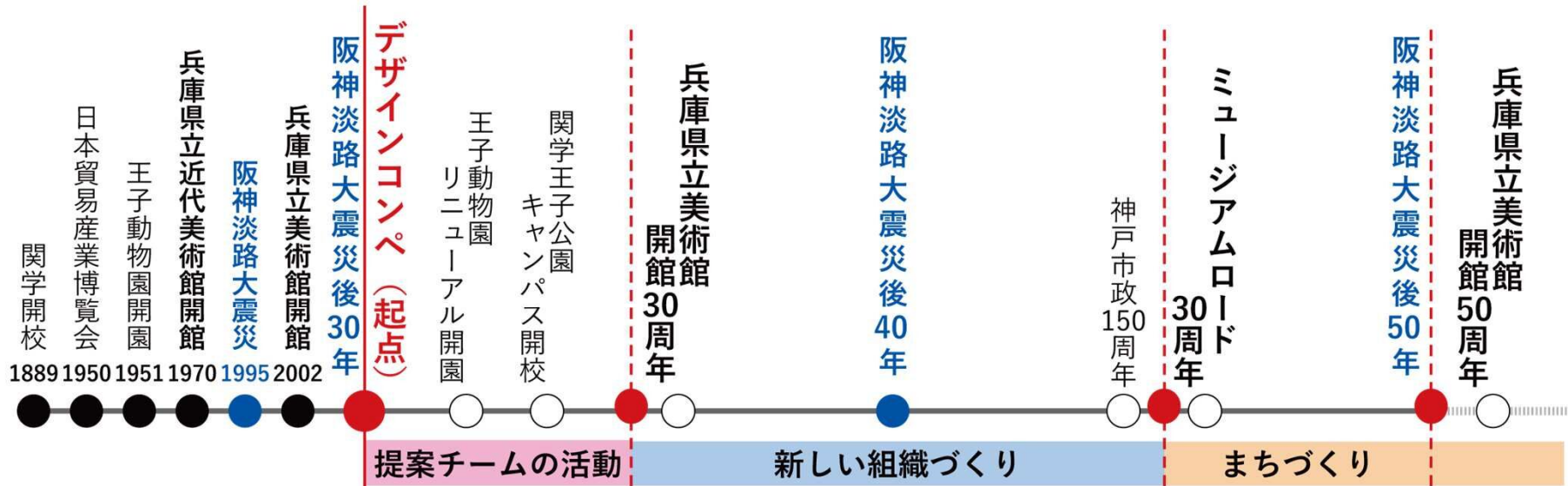
持続可能な組織づくり

08

中長期スケジュール



産・官・学・民 連携の組織を立ち上げ、継続的に計画を進める

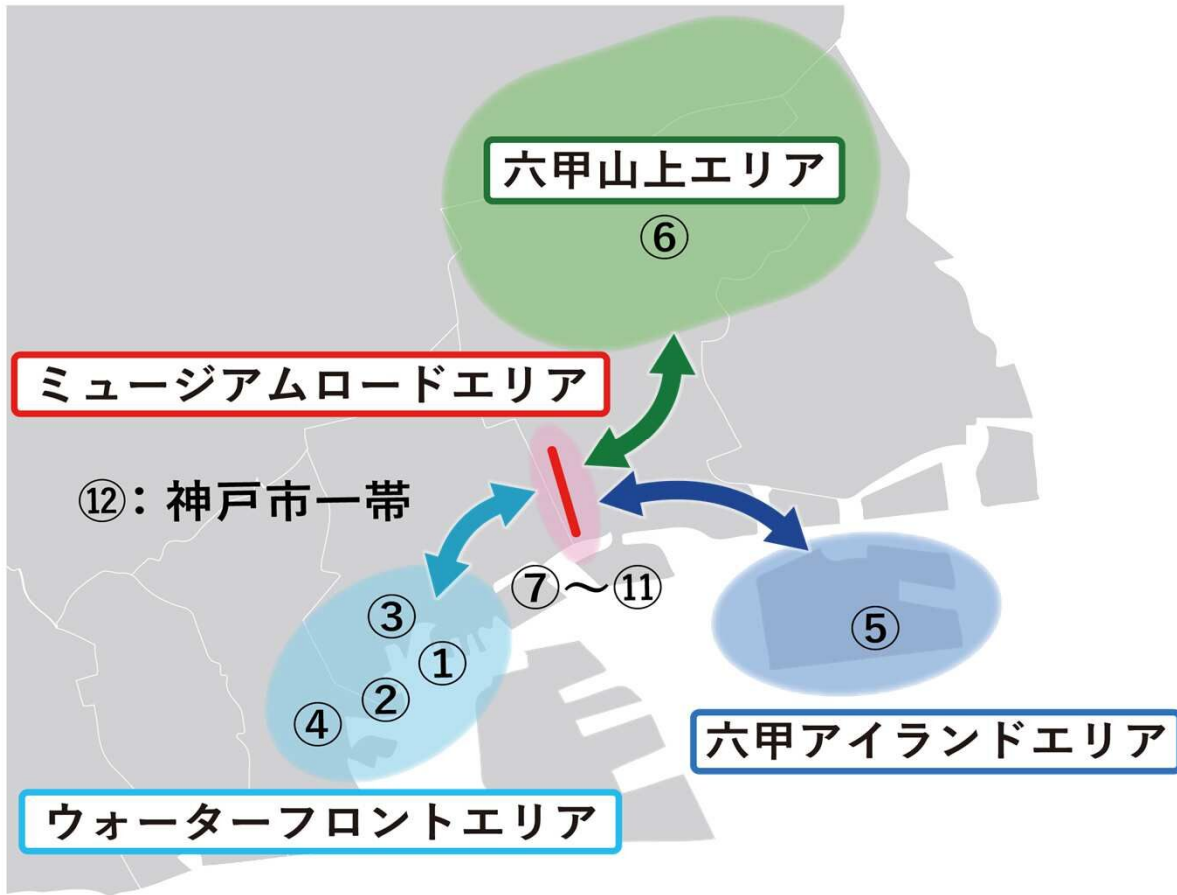


	2025年	2030年	2040年	2045年
	1年後 (2026年)	3年後 (2028年)	5年後 (2030年)	10年後 (2035年)
活動・運営組織	立上げ	深掘り	中核化	運営組織の定着
活動拠点場づくり みんなの箱計画	実験・模索	公開空地×トラック市	みんなの箱の 常態化	みんなの箱を 神戸市内へ
グリーン計画	植樹の始まり	連続性の形成	並木道の完成	木々の更新
モビリティ計画	既存活用①	既存活用②	モビリティの 深度化	新モビリティ 導入に向けて
				ハード面における 南北軸の確立

単発で終わらない、段階的に発展する持続可能な地域像を描く

09 連携 × 組織

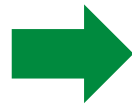
〈 ミュージアムロード結節点 × イベント 〉



想定連携イベントの例

	イベント名	主催者
①	KOBE ART MRCHÉ	一般社団法人 神戸芸術振興協会
②	神戸ウォーターフロント アートプロジェクト	(株)神戸ウォーターフロント開発機構 神戸市
③	COMING KOBE(音楽フェス)	一般社団法人 COMING KOBE実行委員会
④	神戸新開地音楽祭	新開地ミュージックストリート 実行委員会
⑤	六甲アイランド・アートフェア	六甲アイランド・アートフェア 実行委員会
⑥	神戸六甲ミーツアート	六甲山観光株式会社 阪神電気鉄道株式会社
⑦	美かえるカラフルマルシェ	美かえるカラフルマルシェ実行委員会
⑧	神戸芸術工科大学 卒展	神戸芸術工科大学
⑨	灘高架下OPEN FES	神戸モダン建築祭における連携企画
⑩	1DAY JAZZ ROAD	1 DAY JAZZ ROAD実行委員会
⑪	HAT減災サマー・フェス	人と防災未来センター
⑫	KOBE国際音楽祭	神戸市 公益財団法人神戸市民文化振興財団

1. ミュージアムロード内外の
既存イベントなどと連携
2. 新規イベントにも挑戦

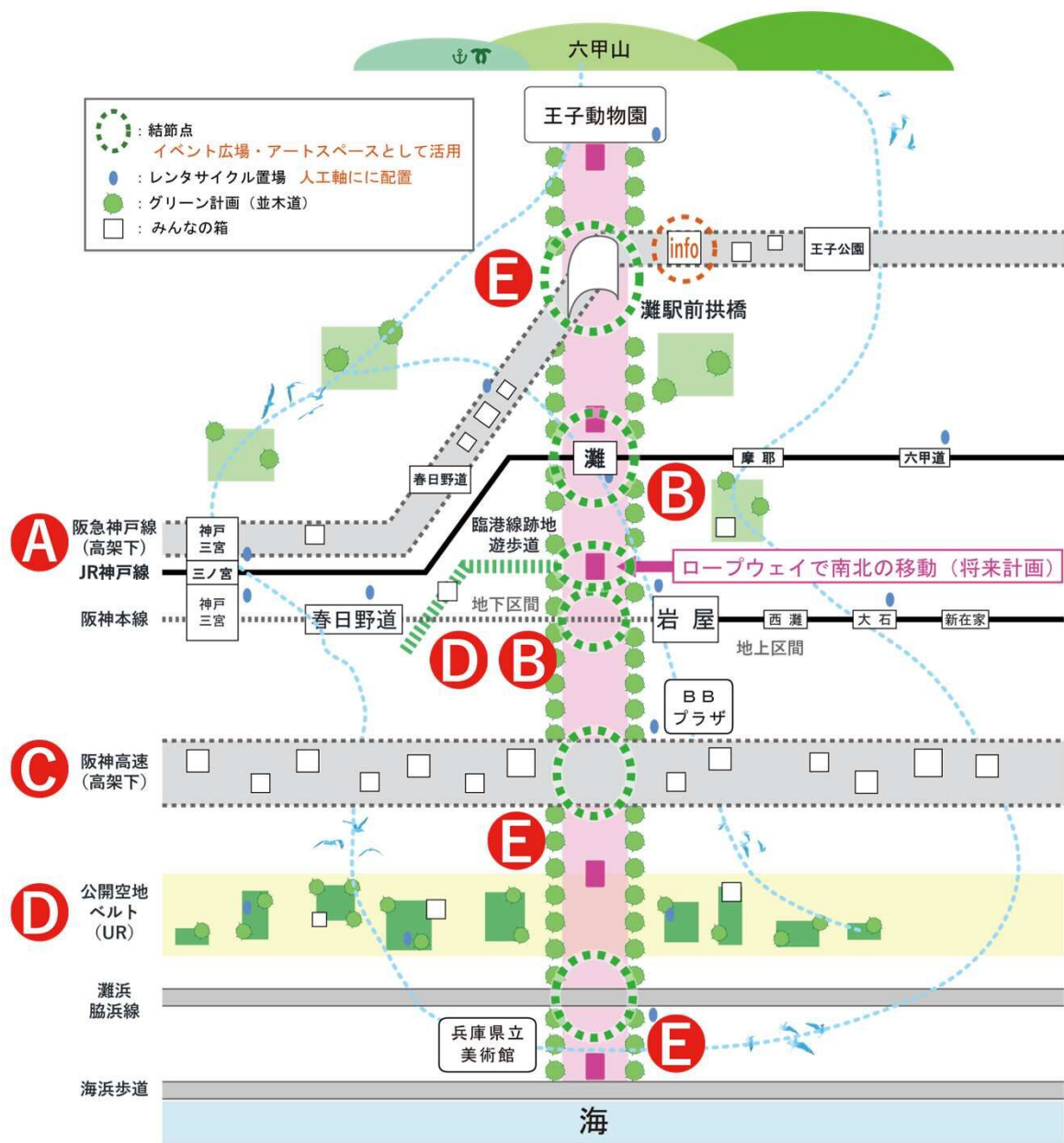


単独では生まれない
面的な広がりを創出

06 自然軸×人工軸

美を知る×魅を知る - 美術館へつなぐ

〈 ハブとしてのミュージアムロード 〉



自然軸に人工軸をプラグイン

■ 既存空間を活用

- A. 阪急神戸線の高架下
- B. 駅前広場
- C. 阪神高速道路の高架下
- D. 公開空地・遊歩道
- E. 交差点

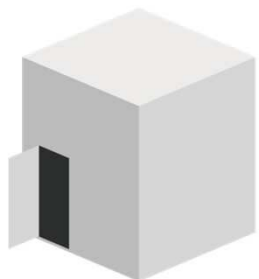


人工軸を活用し
イベントを継続的に展開

10 新たな拠点づくり

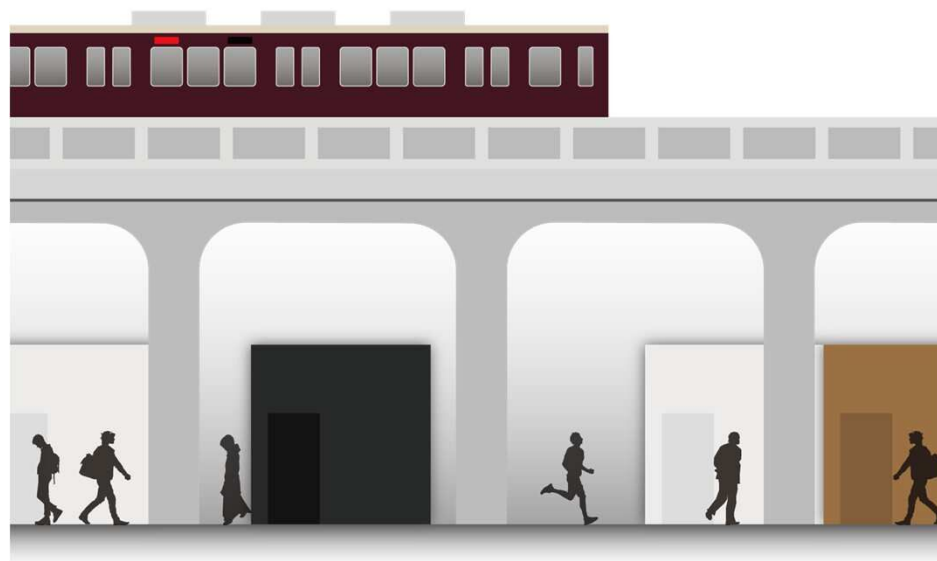
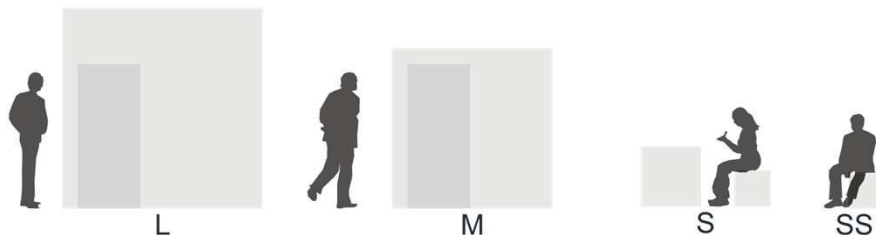
〈 アクティビティ創出の手段 〉

■ みんなの箱×人工軸



みんなの箱

みんなの箱は
建築スケールから家具スケールまで
複数のスケールを持つ

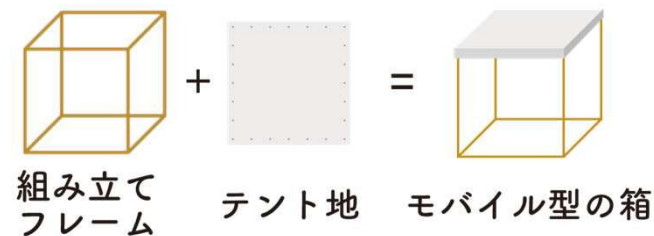


「みんなの箱」は、まちづくりの「種」となるツールとして機能する

■ 公開空地×トラック市

「みんなの箱」とトラックを用いたイベント

参加が容易で、実行可能性の高い取り組みとして実施



モバイル型のみんなの箱



ワンコイントラック市



小規模イベント・社会実験などからスタートし
実績と資金の基盤を育て、次の展開へとつなげる

D: 公開空地(トラック市)



A: 阪急高架下(アートとマルシェとオフィス)



B: 灘駅前広場(盆踊り大会)



C: 阪神高速高架下(音楽フェス)

Museum Road JAZZ FESTIVAL



D: 遊歩道(ドッグフェス)



E: 渚中学校前交差点(グリーンフェス)



「山と海をつなぐ三知」 — 美を知る/魅を知る/未を知る —

